

情報公開用文書（横須賀共済病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2021 年 4 月 8 日作成

研究課題名	転移性前立腺癌に対するアップフロント治療による予後改善効果の解析
研究の対象	2004 年 1 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日までに病理組織学的に前立腺癌と診断され治療開始された方を対象とします
研究目的 ・方法	目的：転移性前立腺癌に対するアップフロント治療による予後改善効果の解析 方法：個人情報以外の前立腺癌についての臨床情報をカルテから抽出し解析
研究期間	西暦 2021 年 月 日 ～ 西暦 2026 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の 種類	以下の情報を診療録より収集します。 年齢 生検日 血液検査（PSA、末血生化学） 転移部位、骨転移個数、EOD 分類、bone scan index 臨床病期 病理組織診断 治療内容、治療に伴う副作用 転帰（非再燃生存期間、癌特異的生存、全生存）
外部への 試料・情報の 提供	外部への試料・情報の提供はありません。
外部からの 試料・情報の 取得と保管	データ管理は横浜市立大学市民総合医療センター 泌尿器腎移植科医局で行い、ネットワークから独立したパスワードのかかったパソコン内または電子カルテオーダリングシステム内でデータベース化します。カルテ番号、患者氏名、生年月日他、個人を特定できる個人情報は送付するデータベースには記載しません。研究用 ID と個人とを紐づける情報はネットワークから独立したパソコン内または電子カルテオーダリングシステム内で各施設にて保管します。カルテ番号を ID として使用しません。他施設のデータは名前、イニシャル、カルテ番号、生年月日等の個人情報を削除した状態のエクセルファイルを E メールにて横浜市立大学市民総合医療センター 泌尿器腎移植科医局に送付されます。エクセルファイルはパスワードで保護します。紙で保管する場合は、ファイルに綴じて施錠できる書棚で厳重に管理し、本研究にかかわる研究者以外がアクセスできないよう保管を行います。また、少なくとも本研究の終了日から 5 年後又は本研究の結果の最終の公表について報告した日から 3 年後のいずれかの遅い日までの期間、個人情報の保護に留意し厳重に管理します。また、保存期間が終了後廃棄する際は、電子媒体で保存している情報については保存してい

情報公開用文書（横須賀共済病院で実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

	るコンピューター端末等から復元不可能な形で消去し、紙媒体で保管している情報はシュレッダーにて廃棄します。
研究組織	研究代表者： 横浜市立大学附属市民総合医療センター 泌尿器・腎移植科 三好 康秀 研究参加施設： 国内 8 施設（予定）
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話でお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒238-8558 横須賀市米が浜通 1-16 横須賀共済病院 泌尿器（研究責任者）小林 一樹 電話番号：046-822-2710（代表）	